

(様式2)

令和4年〔自己評価報告書〕

学校番号	5	学校名	臨港中学校	校長名	黒川保之
------	---	-----	-------	-----	------

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他を愛し、素直で誠意ある人の育成</li> <li>・責任感強く、たくましく勇気ある人の育成</li> <li>・礼儀正しく、質実清楚な人の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を定着させるとともに、明るく生き生きとした学校づくり</li> <li>・教科指導を充実し、「生きる力」を育む学校づくり</li> <li>・道徳指導を充実し、お互いの個性を認め合う学校づくり</li> <li>・家庭や地域から信頼される学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を身につける中で、自分の良さをみつけ、生活を向上させる力を育む</li> <li>・互いの個性や特性を理解しあい、より良い人間関係を築いていく力を育む</li> <li>・学習指導を充実させる中で、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む</li> </ul>

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、約9割の生徒が「学校生活は楽しい」「臨港中に入学してよかった」と回答している。保護者についても、8割以上が「学校生活を楽しんでいる」との回答である。ただし、学年によりその評価の差がみられる。</li> <li>・年間を通して学校便り・学年便りを発行してきたが、生徒・保護者とも約7割強が「学校や学級の情報を知らせている」との良好な回答であり昨年より上昇している。</li> <li>・コロナの影響で授業参観の回数は若干減ったが、月に2日間の公開授業は毎月実施した。9割以上の保護者が「あてはまる」以上の評価をしており、今後も継続していくことが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般について肯定的な回答が多かったが、減少していることをふまえ、より自尊感情、自己肯定感を高め、自信を持って行動できる生徒の育成を図る。</li> <li>・より開かれた学校にするため、今後もいろいろな手段で情報発信を図っていく。</li> <li>・授業公開・学校公開は本校にとって重要な意義があると考え、開催方法の工夫を図りながら、回数を維持していく。また学校公開日は継続して行っていく。</li> <li>・校舎の設備点検や修繕を定期的に行う。また、老朽化した教材教具の更新に努める。教育環境をより整えていきたい。</li> </ul>
2	教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8割近くの生徒が「わかりやすい授業」と回答している。前年度と比較して若干の減少がみられ、わかりやすい授業の実践を今後も心掛けていくことが求められている。「意欲的に授業に取り組む」は7割以上の生徒が回答しているが、前年度より若干の減少があり、生徒・教師ともに問題意識を共有していく必要がある。</li> <li>・生徒の回答で「学力が向上した」が6割強「妥当性・信頼性のある評価」は8割強なのに対して、保護者の回答が7割強と若干の上昇は見られるが、教育課程説明会での評価内容、資料、対象をより分かりやすく説明する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学習指導要領の実施にあたり、学習評価の研修や校内授業研究を実施し、内容を共通理解していくと同時に、今後も校内研修を実施し、授業方法や評価方法の研修を行う。</li> <li>・教育課程説明会等を通して各教科の学習内容や評価の観点等を適切に伝え、妥当性・信頼性のある評価活動に努める。</li> <li>・支援教育をさらに充実させ、入り込み等の支援活動により基礎基本の定着を図るようにする。</li> <li>・教科指導についての職員の意識は高いものがあるので、今後もその意識を高揚させる。</li> <li>・次年度は総合的な学習の時間の校内研修を実施予定であり、川崎市総合教育センターの指導・支援を受ける。</li> </ul>
3	道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前の学習会や、学年会で道徳資料の確認を行い、特別の教科「道徳」の取組を行った。</li> <li>・保護者の意見として「社会のルールについて話している」が7割強と微増している。生徒の意見では同じ項目で9割弱の回答があった。</li> <li>・授業力向上のため、毎年校内授業研究会を開催しているが、今年度は道徳の指導主事を招いての研修会を全学年で行った。今後も、すべての職員が授業方法の工夫や改善に取り組めるよう、継続する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の教科化にともない、人権尊重意識を高める工夫をしていきたい。特に道徳の時間の確保に努める。</li> <li>・「いのちの授業」を今後も継続して実施し、人権尊重教育を推進する。</li> <li>・毎月の学年会で道徳の内容検討、進め方を確認しながら実践する。</li> <li>・人権尊重教育の全体計画を見直し、学校生活全般で人権意識を高めるような取組を実施していく。</li> </ul>
4	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約9割弱の生徒が「学校行事が楽しい」と回答しており、保護者については8割強の回答があり前年度を上回った。おおむね各種行事に満足している状況である。行事を通して協力し合える生徒集団の育成を図り、充実した活動と評価を得ているが、本年度は文化発表会や体育祭で保護者の参加が徐々にできてきていることも影響していると考えられる。</li> <li>・「主体的な学校行事」に関しては、9割近くの生徒が回答している。保護者に対しても9割弱の回答があり前年度を上回っている。3学年に関しては1割の増加がみられ、最高学年として委員会の活動の大切さを意識し、積極的に取り組んでいる結果と考えられる。</li> <li>・生徒の8割近くが、「部活動が充実している」と回答しており、今後も活動の意義を意識して取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会本部や委員会活動を活性化し、できるだけ生徒が前面にたって活躍できる場面をより設定していく。</li> <li>・生徒一人一人の個性を尊重し自立を促すよう、学校行事、生徒会活動をさらに充実させる。</li> <li>・各集団でリーダー育成のためリーダー研修会を実施していく。</li> <li>・自己肯定感を育むため、部活動を活性化する。同時に市の方針に準じて、部活動運営の改善を図っていく。</li> </ul>

5	生徒指導	<p>基本的な生活習慣の確立と生徒理解の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や服装などの基本的な生活習慣の確立に向けた指導の徹底</li> <li>・相談活動の充実と生徒理解の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回の教育相談期間を設けて、生徒の状況把握に努めた。7割強の保護者が「子どものことをよく理解してもらっている」と回答しており増加した。生徒に関しては8割弱にとどまっており、前年度に比べ微減している。</li> <li>・「進んであいさつをする」の回答は昨年同様8割と高くなっているが、保護者は6割となっている。「時間」「挨拶」「服装」「清掃」の学校の取組目標の実現に向けて今後も継続性のある取組が求められている。</li> <li>・「悩みを相談できる」の生徒の回答は昨年同様6割の回答があった。生徒理解の基本であり、継続した取り組みが求められる。教員も多忙化でいろいろな教育課題に取り組む中、なかなか寄り添った指導・支援が厳しい状況のみみられている。</li> <li>・他機関との連携を図り、情報交換などにより早期発見、対応、経過観察ができた。校内外での生徒指導事案件数も減少してきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通理解を図るため、年度初めに全職員により生徒指導方針を確認する。また、夏季研修でも生徒指導の情報交換、研修を実施する。</li> <li>・教育相談期間の設定は本校にとって重要な位置を占めている。今後も生徒がより多くの教員と気軽に相談できる環境づくりに努める。</li> <li>・今後も朝の打ち合わせ、職員会議、主任会で全職員共通に情報が共有できるようにするとともに、報告、連絡、相談を徹底する。</li> <li>・他機関との連携は本校の状況から重要なポイントと思われる。今後も生徒指導担当を窓口にて学年主任、総括教諭との連携を強化していきたい。</li> <li>・いじめ防止ガイドラインをもとに、いじめ防止基本方針の見直しを行うとともに、次年度に応じた策定をしていく。</li> <li>・部活動指導における健全な指導の在り方を顧問会が中心となり見つけなおす研修も必要と考える。体罰は絶対許されない指導体制を構築していく。</li> </ul>
6	特別支援教育	<p>特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒一人一人の教育的ニーズに応えたきめ細かな教育の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に対する職員の意識も高まっている。毎朝メールを使用しその日の支援者を確認するほか、毎月の職員会議の中で支援COからの情報提供や研修報告により全職員の共通認識が図れた。また、毎週の主任会にスクールカウンセラーも可能な限り出席し情報交換できた。</li> <li>・相談指導学級の運営がきめ細かくできた。</li> <li>・個別にケース会議なども実施し、問題を抱える生徒・家庭の理解に努めた。</li> <li>・不登校生徒が減少する傾向が見られたが、まだまだ多い状況にあり、今後も継続した取組が必要な状況にある。個々家庭環境も違い厳しい面もみられたが、粘り強く対応してきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常級に在籍しているものの、学習面や生活面で特別な支援、配慮が必要となる生徒が増加していると分析している。その対応について校内組織、支援体制、相談体制の整備を進め、組織的に取り組むと同時に関係他機関との連携により努める。</li> <li>・保護者への説明と相談活動が円滑に行えるよう努めたい。</li> <li>・特別支援教育推進委員会の取り組みの活性化を促すとともに、毎週1回の支援CO、生徒指導担当、養護教諭、スクールカウンセラーによる情報交換会を充実させる。</li> </ul>
7	健康安全管理	<p>生徒の健康、安全を守る教職員の意識を高め、事故の防止に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応マニュアルを作成し、危機管理意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止教室、熱中症予防講演会など実施した。警察や校医さんとの連携も深めることができている。また、性に関する講演会も保健福祉センターの協力で実施できた。また、給食開始に備えて食物アレルギー対応について緊急時の適切な処置の研修を実施した。</li> <li>・コロナによる休業や集団での活動の制約があるなか、工夫して、避難訓練、防災訓練を実施することが出来た。</li> <li>・校舎の老朽化に伴い修繕が必要なところを迅速に対応して安全確保に努めた。</li> <li>・点検活動を今後も実施し、学習環境の整備を教育委員会と連携して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校医さんとの連携を深め、連絡を密にして学校生活の健康安全管理に努める。</li> <li>・各箇所の管理責任を明確にして、点検活動を定期化し、安全管理に努める。</li> <li>・地震や津波に対する避難方法の指導、防災面での地域での中学生の役割などについても研修を深め、防災意識を高めていく。</li> <li>・他機関と連携し、講師を招いて各種の健康面での講演会を計画していく。</li> <li>・全職員が誰でもAEDの使用ができ、心肺蘇生法を習得するとともに、給食開始に伴うアレルギーの緊急対応ができるよう、研修を深める。</li> <li>・学校保健委員会での生徒の発表を生かし、研究協議を深め、生徒の健康面での状況把握に活用していく。</li> </ul>
8	保護者・地域との連携	<p>生徒の健全育成に向けた連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般にわたる支援とPTA会員相互の理解の伸張</li> <li>・地域教育会議との連携</li> <li>・小中連携教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響により、例年実施されているPTAの行事や地域教育会議主催の行事などを実施することができなかった。生徒にとって体験的な活動が減少したことは残念であった。</li> <li>・例年と時期がずれたが学級懇談会を実施することが出来た。しかし、学校での生徒の状況などを保護者にお伝えする機会が少なかった。ただ毎月学校公開日を設定し、保護者の方に学校の状況を見ていただく機会となった。</li> <li>・地域教育会議の主催による夏の体験学習事業は本校にとって非常に有意義な取り組みであるが、本年度は実施することができなかった。大変貴重な体験の機会なので、今後ノウハウを伝えていくことが重要と捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校にとって地域教育会議との連携は重要な位置を占めている。今後も学校づくりを促進するため地域やPTAとの良い協力関係を深めていく。</li> <li>・ホームページの更新等、学校からの積極的な情報提供を心がけ、よりきめ細やかな内容の情報を発信できるよう努める。</li> <li>・小中連携をさらに推進し、児童生徒理解につなげる。</li> <li>・地域やPTAの協力を得ながら計画的に関連諸行事に取り組んでいきたい。また、部活動単位での参加体制に加えて、他の生徒の意欲的な参加を募る。</li> </ul>

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けての取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動の意義を学年が上がると感じているのは、日常の活動で活躍することができていることと考えられる。様々な活動でもこの傾向が見られるように期待したい。</li> <li>・コロナ禍の中で、特に規模の縮小等があったにもかかわらず、体育祭や文化発表会などの学校行事を楽しめた様子が数字に表れていることを評価したい。</li> <li>・生活に対する指導の方針に関しては、今後も継続して情報交換等を行い、努力していくことを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域との十分な連携・協力のもとに、学校運営を推進してきたが、厳しい教員数の中で対応に不十分な面があった。</li> <li>・日々おこる生徒の問題に対応し、協力して解決へとつなげることができた。次年度も、いじめや体罰のない学校を目指し、「笑顔あふれる学校」の精神と「時間」「服装」「挨拶」「掃除」の3+1を生徒に浸透するようしていきたい。</li> <li>・教育活動は生徒と教職員のふれあいに基づき、相互の信頼関係の上に進められていることを意識し、コミュニケーションを大切に、寄り添いながら支援・指導していきたい。</li> <li>・今まで通り学習指導と生徒指導を大切にしていく。また、他校との関係や外部機関との一層の連携を図っていく必要がある。</li> <li>・学習面への期待の声アンケートから強く感じられる。「わかる授業」をキーワードとし、基礎学力が不足している生徒への支援・指導のあり方を探りつつ、わかる授業・楽しい授業づくりに取り組んでいきたい。特に少人数指導を実践し、きめ細やかな指導を行ってきたい。</li> <li>・支援教育の校内体制を充実させたい。</li> <li>・全国学力・学習状況調査の結果から見える基礎学力、自尊感情・規範意識の低さを認識し、その向上に努めていきたい。</li> <li>・給食指導の充実を図り、スムーズな運営をおこなってきたい。また、食育の推進を行いたい。</li> <li>・生徒の自主的な活動を促し、自信を持たせるようにしていきたい。また、キャリア在り方生き方教育、人権尊重教育の推進を重点的に進めていきたい。</li> <li>・「いいあせ・いいちえ・いいこころ」をスローガンにし、生徒たちが日々の行動を振り返り、成長できるようにする。</li> </ul>